

令和3年度 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表(案)

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和3年12月27日～令和4年1月21日)

No	基本目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)			評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		
1	1	①	空き店舗等の有効活用	空き店舗や空き地の積極的な活用により、商工業の振興と街なかの賑わいを創出する。 ○空き店舗情報のデータベース化と情報発信 ○町民の需要に応じた起業者の誘致 ○店舗改修、設備導入及び創業に係る支援(企業振興促進補助事業) ○チャレンジショップの開設	ホームページ等を活用して創業希望者等に支援制度や空き店舗情報の提供	R2 0	空き店舗の活用件数R2～R6(計)	5件	R2 0件	有効的である 75% 有効的と言えない 25%	・第1期戦略期間中は5件の事業者を活用されたことは評価できる。今後もホームページ・チラシ等を活用し、創業希望者等に空き店舗情報の提供や町と商工会が連携した相談業務を実施していく必要がある。 ・令和2年度において活用されなかった理由を示されないと評価は難しい。
2	1	①	新商品の開発と販路拡大支援	地場産品の魅力の増大や企業の新たな取組みに対し支援を行う。 ○地場産品情報の都市圏への発信とマッチングの推進 ○商品開発に係る支援(企業振興促進補助事業) ○農商工連携による商品開発	関東圏を中心に本町の特産品を紹介し販路拡大等にきっかけづくりとなるために中小企業者等販路拡大事業補助金や新製品開発・新サービス開発支援事業にて事業者を支援	R2 0	新規販路契約事業者数(R2～R6計)	10社	R2 0社	有効的である 75% 有効的と言えない 25%	・令和2年度の実績はなく、こちらも活用されなかった理由を示されないと評価は難しい。 ・実績はなかったものの、2年目以降も支援が必要な事業者に対する準備と、コロナ後の事業活性化に向けて体制を整える必要がある。また、シーバードフレンドリー推進協議会等の関係団体との連携についても期待される。
3	1	①	起業・経営支援	若年層の起業意欲の促進と、企業経営者の積極的な経営施策に対し支援を行う。 ○相談窓口の開設 ○定期的な起業セミナー等の開催 ○起業を応援するための情報発信	産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を変更し、創業無関心層を対象とした「創業機運醸成セミナー」を開催	R2 80	起業創業セミナー参加者R2～R6(計)	50人	R2 59人	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	中小企業診断士を講師に、高校生59名を対象に「起業創業セミナー」を開催。多くのビジネスアイデアを生み出すことが出来たほか、過去の起業セミナー参加者の中からも複数が開業していることから、有効的であったと評価する。
4	1	①	6次産業化の推進	地元で収穫又は水揚げされた地場産品の付加価値向上と効率的な出荷を可能とする加工、保管及び出荷に係るシステムを構築する。 ○新技術(設備)の導入等による地場産品のブランド化 ○地産地消や産業間連携の推進支援	H30年度実績なし 6次産業化の取り組み(内部設備の整備、新製品の開発経費)に対して補助を実施	R2 0	6次産業化取組件数(R2～R6(計))	3件	R2 0件	有効的である 75% 有効的と言えない 25%	実績はなかったものの、事業の内容は有効的と判断できる。しかし、第1期戦略から引き続き実績がないことから、事業の必要性について再検討する必要があると考える。現計画期間中は、新たな農林漁業の6次産業化助成制度を活用する者に対し周知、相談業務等を充実させ、新商品の開発や販路拡大につながるよう支援が必要である。

令和3年度 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表(案)

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和3年12月27日～令和4年1月21日)

No	基本目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)			評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		
5	1	②	農業従事者の創出	新たな従事者の募集、受入、指導までを一括して行うシステムを構築する。 ○新規就農研修生の雇用と受入農家の確保 ○受入体制の整備	事業実績なし [農業担い手協議会を中心に検討]	R2 0	研修参加者数(R2～R6計)	5人	R2 0件	有効的である 88% 有効的と言えない 12%	現状、離農者の農地は近隣の農業者が耕作することで補っているものの、新規就農者の体験実習、就農研修等の実績がなかったことから、オロン地区農業担い手確保対策協議会(羽幌町、初山別村、遠別町)を中心として、新規就農者支援対策に更に取り組む必要がある。
6	1	②	1次産業後継者及び新規就業者等の育成	1次産業に従事する若年労働力の育成と定着化により後継者等を確保する。 ○農地取得等にかかる支援(農業後継者対策事業) ○資機材の整備等に係る支援(漁業新規就業者等育成事業)	○農業後継者育成 ○漁業新規就業者等育成	R2 1,955	農水産業における後継者及び新規就業者(R2～R6計)	20人	R2 4人	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	令和2年度は4人の農業後継者及び漁業新規就業者があったことから有効的と評価する。今後においても引き続き農業後継者対策となる農地取得及び賃貸借に係る支援や農業担い手支援対策事業、新規漁業者に必要な免許の取得及び漁船の買船や建造、漁業機器の購入経費の一部支援などを継続しつつ制度の見直しについても検討していく必要がある。
7	1	③	事業承継と雇用のマッチング	働きたい人と働く人を必要とする町内企業等のマッチングを図る。 ○従業員(継承者)を必要とする企業等と就労を希望する方の情報集約とマッチング	事業実績なし [羽幌町中小企業持続化支援事業補助制度(設備の導入・更新、店舗内装改修等)に対する補助]や羽幌町雇用促進助成制度、新設の社宅建築促進支援事業等にて支援]	R2 0	マッチング件(店舗)数(R2～R6計)	5件	R2 0件	有効的である 75% 有効的と言えない 25%	事業承継と雇用のマッチングについて実績がなく、事業の推進方法自体を検討していく必要がある。各種補助金の内容は有効的と考えるため、制度の活用を促進するための周知徹底と、今後、更に高齢化が進むと想定されることから、町と商工会が連携し、町内企業等のマッチングを図っていく必要がある。
8	1	③	企業誘致及び異業種間連携	本町の環境に適した企業の誘致と本町の地場産品や取組に関心のある企業等との連携事業を展開する。 ○工場等の立地に係る意向調査 ○工場立地に係る支援(企業振興促進事業) ○民間企業や各種学校等との連携による新たな雇用の創出	○企業訪問等に伴う旅費、試供品配布等経費	R2 173	誘致する企業等の数(R2～R6計)	1社	R2 0社	有効的である 88% 有効的と言えない 12%	令和2年度において第一生命保険㈱と包括連携協定を締結したほか、これまでも札幌ベルエポック製菓調理専門学校や酪農学園大学、神奈川県海老名市等と連携事業を継続しており、取組としては有効的だったと認められる。しかし、令和2年度において企業誘致の実績がなかったことから、今後も地域の活性化のため、町の施策にマッチした新たな企業の誘致を図っていく必要がある。

令和3年度 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表(案)

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和3年12月27日～令和4年1月21日)

No	基本目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)			評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		
9	1	③	雇用機会の拡充	既存企業における新規及び正規雇用を拡大する。 ○常用パート及び新規雇用に係る支援の継続と支援対象者(障がい者)の拡大(雇用促進助成事業)	○雇用促進助成事業による補助	R2 5,760	新規雇用拡充数(R6補助決定者数)	20人	R2 0人	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	令和2年度の実績はなかったものの、新規雇用を促す制度として企業等に定着し、第1期計画期間中には37人の実績があり一定の効果があつたことから、有効的と評価する。R元年度より新規雇用助成額を増額しているため、社宅建築促進支援補助金と併せて雇用する側に対し助成を行うことで、雇用機会の拡大及び雇用環境の充実を図る必要がある。
10	2	①	既存資源の活用	活用可能な財産を居住拠点及びその資源として有効に活用する。 ○公共施設等解体跡地の宅地としての売却 ○空き家対策計画の推進(空き家バンクの運営) ○民間賃貸住宅情報の提供	○空き家バンクの運営(空き家バンク契約成立件数6件) ○空家対策補助制度(補助制度により改修件数4件)	R2 1,750	空き家利用戸数(R2～R6計)	30戸	R2 10戸	有効的である 88% 有効的と言えない 12%	空き家バンク制度及びH28より空家対策補助金が事業化され、空き家を購入または賃貸により活用しようとする動機づけにつながつた。令和2年度は10戸の利用実績があり有効的と評価する。今後も制度概要を幅広く周知し、空き家屋の状態が悪くならないうちに活用されるよう推進していく必要がある。また、公共施設跡地についても、宅地として利用可能なものは積極的に売り払いを行っていく必要がある。
11	2	①	新たな住宅の整備	公営住宅の建設や単身及び世帯向けなど需要に応じた集合住宅の建設を促進する。 ○公営住宅の計画的な建設 ○集合住宅の建設に係る支援(民間賃貸住宅建設助成事業)	○公営住宅建設工事 ○民間賃貸集合住宅建設促進助成金	R2 99,913	民間賃貸住宅建設戸数(R2～R6計)	30戸	R2 0戸	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	第1期計画期間中、町全体では42戸が建設され、民間賃貸集合住宅建設助成制度については4棟18戸での活用があつたことから有効的と評価する。令和2年度は民間賃貸集合住宅建設促進助成金の応募がなく、需要調査により現段階では必要性がないと判断され令和3年度から本制度は廃止することとなったが、単身者向け住宅の整備が必要と感じる面もあり、必要に応じて再開を検討する必要がある。また、公営住宅についても長寿命化計画に基づき整備を進める必要がある。

令和3年度 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表(案)

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和3年12月27日～令和4年1月21日)

No	基本目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)			評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		
12	2	②	魅力ある地域の創出	<p>本町が有する豊かな自然、豊富な食材、地域特性を売りに、知名度向上と交流人口の拡大を図る。</p> <p>○従事者の意識向上及びコーディネーター等の育成</p> <p>○観光施設(自然公園(天売島・焼尻島)、道の駅(はぼろ温泉、パラ園))等の整備と適正管理</p> <p>○地場産品(甘エビ、うに、めん羊等)や観光資源を活用した観光交流イベントの実施</p> <p>○日本唯一の海鳥専門施設「北海道海鳥センター」を核とした自然環境に特化した研究事業等の実施</p> <p>○焼尻めん羊牧場の安定経営による地域産業としての持続</p>	<p>○各種イベント開催に係る補助、観光団体への補助、観光施設等の維持に係る修繕料・工事費、いきいき交流センター運営に係る費用(指定管理料)、めん羊牧場運営に係る費用</p>	R2 55,685	イベント満足度(R2～R6平均値)	80%	R2 -%	<p>有効的である 100%</p> <p>有効的と言えない 0%</p>	<p>第1期計画期間中において「はぼろ甘エビまつり」「天売ウニまつり」「焼尻めん羊まつり」等の各種イベント満足度は高く、KPIも達成していることから有効的と評価されており、第2期計画期間中においてもイベントなどの集客を目的とした催しは、コロナの状況を踏まえつつ継続について検討するべきと考える。焼尻めん羊牧場については、メス羊の出荷を抑制するなど、将来の羊肉の安定供給にむけた体制づくりに努める必要がある。</p>
13	2	②	情報発信と宣伝普及活動の強化	<p>宿泊者等の町内滞在者及び町外への情報発信に必要な素材の充実と積極的なPR活動を実施する。</p> <p>○様々な媒体や機会を活用したPR活動の実施</p> <p>○広域による都市圏や他地域との交流事業の推進</p>	<p>○PR時試供品等、職員旅費、消耗品、印刷製本費、通信運搬費、手数料、保険料、使用料及び借上料、観光団体への補助</p>	R2 403	札幌市近郊及び都市圏を対象とした宣伝事業実施回数(R6数値)	12回	R2 1回	<p>有効的である 88%</p> <p>有効的と言えない 12%</p>	<p>令和2年度実績は新型コロナウイルスの影響から観光誘客推進事業1回のみの実施となったものの、事業の内容は有効的と評価できる。今後も、観光事業者との連携や関連施設を利用した札幌圏での観光誘客プロモーションを継続するほか、首都圏においても特産品販売を通じた観光誘客について、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらPR効果の高い手法等を模索し、積極的に取り組んでいく必要がある。</p>
14	2	⑤	地域おこし協力隊事業	<p>都市圏等他地域から本町で必要とされる新たな人材を招聘する。</p> <p>○地域おこし協力隊事業</p>	<p>○協力隊の報酬、旅費、車両借上料等の協力隊に係る経費</p> <p>○協力隊活動助成金</p> <p>○協力隊起業支援補助金</p>	R2 466	協力隊員定住率(R6数値)	60%	R2 -%	<p>有効的である 100%</p> <p>有効的と言えない 0%</p>	<p>令和2年度に活動した協力隊はいないが、令和元年度で任期を満了した2名の隊員が定住するなど、有効的と評価する。今後も必要な業務について精査のうえ募集を行い、定住に向けた支援を図る必要があると同時に、定住した協力隊員がこれまで培った力を発揮できるよう支援することも必要と考える。</p>



令和3年度 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表(案)

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和3年12月27日～令和4年1月21日)

No	基本 目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)			評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		
15	3	①	シングルマザーの転入誘致	子育てしやすい環境を創出し、シングルマザーの転入を促進するための受け皿を構築する。 ○各種支援制度の構築と居住環境の整備	○移住された方による交流事業を実施 ○応募者面談費用 ○事業推進主体運営委託費	R2 0	受入体制構築度(R6数値)	5件	R2 0件	有効的である 75% 有効的と言えない 25%	令和2年度は移住希望者からの相談はあったものの、移住には至らなかった。受け入れ体制が整ってから5年が経過していることから、体制の見直しと事業のPR方法について検討するとともに、移住された世帯に対しては、今まで同様に相談窓口となり、永く定住してもらえるよう努める必要がある。
16	3	②	出産までの支援	子どもをつくりやすい環境づくりを促進する。 ○妊娠(不妊治療含む)・出産に係る費用及び精神的支援 ○出産祝い品の贈呈	○保健師による妊産婦との面談等経費、妊産婦健診や出産に係る助成等 ○めん羊布団製作委託費	R2 4,531	合計特殊出生率(R6数値)	1.66%	R2 1.42	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	令和2年度はKPIの達成には至っていないものの、新生児に対する布団やマットの贈呈や保健師による相談業務のほか、妊産婦健診及び出産に係る経費の一部助成について妊産婦の不安解消や経済的負担の軽減が図られており、有効的と評価できる。また、当町に産可能な医療機関がないことから、今後も継続した支援を実施していく必要がある。
17	3	②	子育て環境の充実	子育て世代が望む時代にあった子育てのしやすい環境を整える。 ○子育て世代の誰もが望む集いやすい環境の整備 ○相談(発達、育児等)及び保育機能等(一時預かり、遊び場の提供等)の充実 ○子ども達に係る医療費の負担軽減	○認定こども園、私立幼稚園運営支援補助、保育園運営費、中学生以下医療費無償、一時預かり経費	R2 169,259	子育てしやすい満足度(R6数値)	50%	R2 -	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	現状では待機児童もなく、各認定こども園・幼稚園の取り組みにより、保護者の需要は満たされている状態と考える。また、乳幼児の発育に係る相談等も実施し、保護者の不安解消に努められていることや、中学生以下の医療費無償制度については保護者の負担軽減が図られていることから、有効的と評価する。今後も、子育て世帯のニーズに対し安定した支援を推進していく必要がある。
18	4	①	地元高校への進学者確保	地元高等学校の魅力向上と通学しやすい環境作りに努め、町内外からの進学者を確保する。 ○高等学校の魅力化支援 ○高等学校進学に係る経済的支援 ○奨学金制度の拡充 ○道内外中学校等に向けた宣伝PR	○高等学校魅力化支援事業補助、高等学校進学に係る経済的支援、天売高等学校生徒募集事業経費	R2 15,447	町内中学生の町内高校への進学率(R6)	80%	R2 78%	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	地元高校への支援事業、進学に係る経済的支援については町内及び近隣町村の生徒が羽幌高校を選択する状況に寄与しており、有効的と評価する。また、天売高校の島外からの生徒募集については、H30年度から寮を開設し、R2年度は3名、令和3年度は7名の島外入学者があった。今後も島民との連携を図りつつ、事業を継続していく必要がある。

令和3年度 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表(案)

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和3年12月27日～令和4年1月21日)

No	基本 目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)			評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		
19	4	②	児童生徒の学ぶ 機会の充実	学習や体験学習の場の充実及び 拡大を図り、魅力ある学びを 提供するとともに郷土愛を育む 校外活動を促進する。 ○子ども自然教室事業 ○ジュニアレンジャー事業	○子ども自然教室事業経費	R2 332	自然教室平均 参加率(R6)	65%	R2 53%	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	自然教室では、その年によって多少の増減はあるものの一定数以上の参加があり、自然や郷土等に関する学習が充実しており、異年齢の児童との活動により豊かな情操や人間性を養い、郷土愛を育てていると認められることから有効的と評価する。今後も、参加者等の意向を把握しながら適切な事業を展開していく必要がある。
20	4	③	人づくり事業	地域活動等に従事する町民の中 から将来のまちづくりを担う人 材を育成するとともに、地域医療 を支え志す将来の医療従事者 (人材)を育成する。 ○研修活動等に係る支援(人づ くり事業) ○地域医療に従事する看護師 等の育成(助産師・看護師確保 対策事業)	○人づくり事業補助 ○助産師・看護師等修学資金貸 付	R2 3,060	補助決定件数 (地域活動)(R2 ～R6計)	50件	R2 1件	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	令和2年度は人づくり事業補助決定数は1件に止まったものの、修学資金貸付対象者1名が町内の病院へ就職したほか、R2年度の貸付対象者も5名と順調に推移しており、有効的と評価できる。今後も制度概要等の周知を図りながら、支援を継続していく必要がある。
21	4	⑤	介護向け人材の 育成	高齢社会に向けた人材の育成 及び確保に努める。 ○高校生と介護職員の交流事 業 ○介護知識向上のための研修 会等の開催 ○介護職員の給与等の底上げ の実施	○ケアマネージャーの交流及び 技術向上等を目的とした研修会 の実施 ○資格取得に係る経費の助成	R2 390	交流会及び研 修会実施回数 (R6数値)	2回	R2 0回	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	新型コロナウイルスの影響によりR2年度の実施はなかったものの、ケアマネージャーの交流及び技術向上等を目的とした研修会は資質の向上に寄与するものであり有効的と評価できる。また、介護職員の資格取得等については実習が伴うこととなりハードルも高くなることから、今後も制度の周知を行い、費用助成の継続により受験者の負担軽減に努め、介護従事者の確保と介護サービスの安定供給を図る必要がある。
22	4	⑤	高齢者向け生き がい対策	高齢者の居場所、活躍の場の確 保に努める。 ○老人クラブ活動事業	○高齢者団体補助	R2 790	老人クラブ組織 数(R6数値)	9団体	R2 9団体	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	高齢者が集い、軽スポーツや研修旅行など生きがいや健康づくりに活発に取り組む老人クラブの活動を支援することで、明るい長寿社会づくりが図られており、令和2年度はKPIについても達成していることから有効的と評価する。今後も、単位クラブの組織数維持や新規会員の勧誘に対するの助言指導など活動支援に努めていく必要がある。

令和3年度 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表(案)

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和3年12月27日～令和4年1月21日)

No	基本 目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)			評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		
23	4	⑥	障がい者及び高齢者等への支援	バスその他の交通機関の利用が困難な重度の障がい者及び高齢者等が、通院等でハイヤーを必要とする場合に、その費用の一部を助成することにより、その者の日常生活または社会生活の活動を容易にし、もって福祉の増進を図る。 ○福祉ハイヤー料金助成事業	○下肢等の障がいにより歩行が困難な者や当該年度中に80歳に到達する者へ福祉ハイヤー利用券を交付	R2 3,979	対象者利用数 (R6数値)	70%	R2 60%	有効的である 100% 有効的と言えない 0%	福祉ハイヤーは認知度が上昇し、高齢者の申請数・利用数も増加していることから、有効的と評価する。今後も更に認知度を上昇させて継続していくとともに、制度自体もよりよいものになるよう検討を重ねていく必要がある。

【第2期羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標・施策一覧】

1

国目標	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
町目標	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する
施策 分類	① チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業
	② 一次産業就業者等拡大事業
	③ 雇用環境支援事業

2

国目標	地方への新しいひとの流れをつくる
町目標	多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する
施策 分類	① 居住拠点整備事業
	② 資源活用事業
	③ 人材招聘事業

3

国目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
町目標	子育てのしやすい優しいまちを創出する
施策 分類	① シングルマザー支援事業
	② 子ども・子育て支援拡充事業

4

国目標	時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。
町目標	住み続けたいと思うまちを創生する。
施策 分類	① 高等学校魅力向上事業
	② 学校外活動充実事業
	③ 人材育成事業
	④ 福祉環境充実事業